

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

株式会社ニチレイフーズ 山形工場

天童市にある株式会社ニチレイフーズ 山形工場の三浦日那乃さん取材しました！
三浦さんは山形大学人文社会科学部を卒業した後、2021年に入社しました。
現在は製造グループで勤務しています。

(1) 仕事内容編

——現在の仕事内容について教えてください。



私が所属しているのは製造グループです。当工場の製造グループは、冷凍食品を製造するラインと、常温食品を製造するライン（レトルトカレーやスープを作っているライン）があり、私はいま常温食品を製造するラインに所属しています。その中でも、レトルトパウチにカレーソースや具材を充填したり、原料の選別や計量を行ったりしています。

そのほか、商品の包装、資料作成、現場の人員配置も担当しています。日々の生産内容に合わせて様々な仕事を行っています。



——ニチレイフーズでは冷凍食品や常温食品を製造しているということですが、製造ラインはいくつあるのですか？

細かく分類すると、冷凍食品は1つのラインですが、常温食品は4つのラインに分かれています。

常温食品のラインのうち、1つは業務用の大袋食品を製造しており、他3つは家庭用や業務用の小袋食品を製造しています。スーパー等でよく見る商品でいうと「ふかひれスープ」の製造ラインに私は所属していて、工場内で唯一24時間体制でラインが稼働しています。

——原料の選別作業は人の目で確認するのでしょうか？

人の目で行う選別の他に、金属検知機、X線異物検出機を使って異物を除去しています。金属検知機は金属に特化した機械、X線異物検出機は硬質異物に特化した機械です。これらの機械では排除できない軟質異物、例えば髪の毛などを含めた異物全般を人の目で確認して排除することで、様々な異物に対応しています。

——二重チェックの体制で行っているのですね。

人の目で確認できる量や大きさには限界があるので、ラインには多くのX線、金属検知機が置かれています。多くの機械や人の目を通して、安全で安心な商品作りにつなげています。



——三浦さんは社内の改善活動コンクールで金賞を受賞した(すごい!)とのことですが、具体的にどのような活動を行ったのですか？

改善活動は、当工場では「王将プロジェクト」という名前で行っていて、部署ごと・ラインごとにわかれてチームを組みます。1年を通して自分がかかわる現場や仕事の改善活動を行うという活動で、トヨタ生産方式になって業務の効率化を目指しています。

私のチームが行った改善は、カレーに入れるお肉が計量機の出口にくっついてしまい、計量が非常にやりづらいという現場の声があったので、お肉のボイル方法を改善し、スムーズな計量を実現することに成功しました。

それに、お肉は今までのゆで方だと、体積が大幅に縮んでしまっていたのが(例えば100gが80gになってしまう)、このボイル方法だと肉の重量をあまり減らすことなく規定量をクリアできるようになりました。従来通りの材料仕入れでさらに多くの製品を作れるようになるという副次的な成果まで得られました。

また、それとは別に、作業員一人ひとりの作業のしかたが違っていたので、作業方法の統一を行い、作業員の不満を解消するとともに作業の効率化も達成できました。これらの成果が評価されて、ニチレイフーズの全工場で1番(!)の金賞を受賞しました。



——すごいですね！入社2年目で受賞されたことにも驚きました。

ありがとうございます(笑)。私自身もお肉の計量機にかかわっていましたが、やはりチームで活動を行って、いろいろな知識を持ったみんなで意見を出し合いながら進められたことが大きかったと思います。自分でも受賞はびっくりでした(笑)。



——今後、三浦さんのアイデアが全国的に採用されることもあるのですか？

他の工場では別の製品を作っており、工程などが違うため、そのまま採用はできないかもしれませんが、着眼点を活かしたり、似たような工程があれば採用されたりすることもあると思います。

——チャレンジ精神を存分に発揮できる機会が用意されているのは素晴らしいと感じました。

その通りですね。王将プロジェクトは基本的に若手社員が取り組む業務で、どんどんチャレンジできる風土を生み出しているのです。入社2年目でそのような機会を与えてもらったことに感謝しています。

(2) 職場編

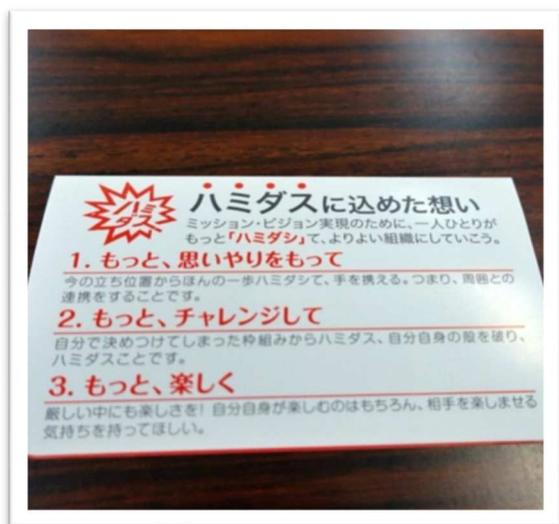
——ニチレイフーズに就職を決めた理由について伺います。

理由はいくつかありますが、1つ目に山形県内での勤務を希望していたこと、2つ目に全国的に知名度がある会社であること、3つ目に挑戦する風土がある会社であることを、企業を選ぶ際の軸として決めていました。最終的には、他社よりも面接や企業訪問時の雰囲気や和やかであったことが大きな理由です。

——**雰囲気は大事ですね。職場全体でも雰囲気がいいと感じますか。**

そうですね。やはり人と人なので個々ではいろいろあるとは思いますが、全体的な雰囲気は和やかにお互いを受け入れる感じです。

休みの相談もしやすいですし、「譲り合いの精神」や「困ったときはお互い様」の考え方が浸透している職場であると感じます。



——**ニチレイのラジオCMがおもしろくて好きなのですが(笑)、お話を聞いていても雰囲気のよさが伝わってきますね。**

ありがとうございます(笑)。もう一つ、雰囲気のよさにつながるのが会社のモットーである「ハミダス」です。もっと思いやりを持って・もっとチャレンジして・もっと楽しく仕事をしようという3つの精神をみんなが持って活動しています。

例えば、社内のハミダスメンバーで従業員の方々にビュッフェ形式の食事を用意したり、年末の大抽選会の準備をしたり、メンバーで東京に出張したりなど、業務に関係ないことでも全力で楽しもうとしています(笑)。

また、ハミダスメンバー主催で新入社員向けに定期的に座談会などを開催し、みんなが働きやすい環境を整える取り組みも行っていきます。



——勤務地が山形希望とのことでしたが、ニチレイフーズは全国各地に拠点があると思います。山形勤務は自身で決めることができたのですか？

そもそも応募の時点で窓口が別れています。私が選んだ技能職は転勤がなく各地の工場ごとに採用される形になります。一方、基幹職は本社にて採用後、各地に配属という形になります。そのため、技能職であれば転勤なしで働くことができます。

——三浦さんは文系出身ですが、事務職や営業職ではなく、製造に直接関わる職種を選んだ理由は何ですか？

コロナ禍の中で外出自粛により、自分も含めて多くの家庭で冷凍食品やレトルト食品を自宅で食べる機会が増え、こういった食品の便利さに気付き、興味を持ったのがきっかけです。

食品関連の会社を調べながら、製品を作る一連の流れや改良のために試行錯誤を行う様子が非常におもしろいと感じました。

——勤務時間はシフト制になるのですか？

そうですね、製造グループではシフト制になります。24 時間体制のラインだと 3 つの勤務時間があり、1 つ目は日勤で朝の 8:00 から夕方の 16:30 まで、2 つ目は 16:00 から 0:30 までの準夜勤、3 つ目は 0:00 から 8:30 までの夜勤に分かれています。私は、一週間ごとに日勤・準夜勤でローテーションしています。中には日勤→準夜勤→夜勤、とローテーションしている人もいます。

——勤務時間は希望できるのですか？

入社したての頃は基本的には日勤で、慣れてきたころに準夜勤も担当するようになりました。もちろん勤務時間は上長と相談したうえで決めるので、急に夜勤になるといったことはありません。自分の生活スタイルや体調なども含めて相談のうえ決めることができます。

——残業を行う日もあるのですか？

残業を行う日もありますが、私の所属ラインでは月平均 10～15 時間程度になります。ラインで何かトラブルが発生したり、ラインの改善活動をプラスアルファで行うために資料を作成したりするときに残業が発生します。

——日勤の場合、退勤時間が早いなと思いました。

そうですね。朝は早く出勤するのですが、退勤が早いと自分の時間を多く確保できるので、趣味との両立がしやすいと感じます。

(3) ある日の過ごし方編

●8:00 【朝礼】

作業着に着替え、ラジオ体操・朝礼を行います。

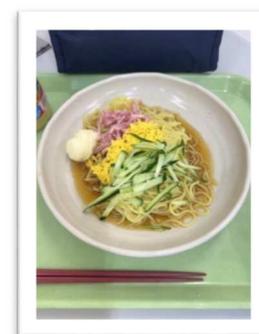
私が所属しているレトルトラインは24時間稼働ですので、夜勤の方から進捗状況などを聞き、今日のスケジュールを確認します。



●8:15 【充填作業（半日）】

この日は半日、具材自動計量機の操作を担当しました。

カレーに入れる肉を機械に投入、目標重量が計量されるように設定します。自動計量中は肉を補充しながら機械の調子や計量精度をこまめにチェックし、機械が順調に動くようにしています。



●12:00 【お昼休憩】

食堂で食べます。

仕出し弁当と、ラーメン・そば・うどんがあります。この日食べたのは「冷やし中華（270円）」です。量はちょうどよく、会社の補助があり安く食べられるのでありがたいですね！



●14：00【原料の選別作業】

木耳や椎茸など、製品に使う原料の選別作業をします。髪の毛や石、プラスチック片などの異物がないかどうか入念にチェックします。



●16：00【引継ぎ・メールチェック】

夕方から出勤する方々に業務を引き継ぎます。
時間に余裕があれば。パソコンでメールをチェックしたり、打ち合わせで使用する資料などを作成したりします。

●16：30【退勤】

退勤後は、地元の友人と夜ご飯を食べたり、ランニングしたりします。他の会社に比べて少し早い終業時間なので、平日でも好きなことを色々とできます。

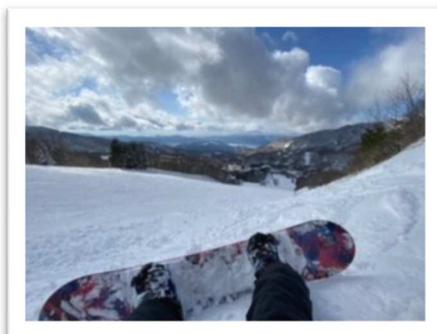
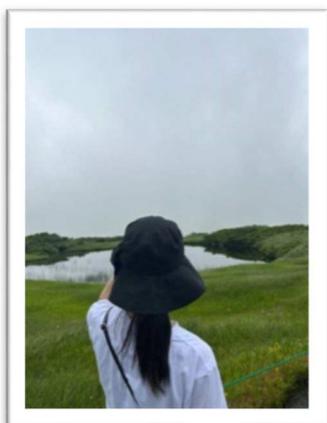
(4) むらやまでの暮らし編

——県内での就職を決められましたが、県外にも興味のある会社はありましたか？

もちろんありました。もともとコンサルティング業に興味があり、都会のほうのコンサル関係の企業を探して面接を受けていました。ですが、やはり家族の近くにいたいという思いがあり、地元のほうが通勤時間やメンタル面でも安心できると思ったので、県内就職に決めました。

——山形県内は雪の日などは車での通勤が大変になると思いますが、どのように対処していますか？

冬はとにかく早く家を出ることですね。車の雪下ろしや道の混み合いがあるので1時間早く行動するようにしています。特に、車が雪にはまると大変なので、車にはスコップやタオルなどを常備しています。タイヤにタオルを巻くとスタックしたときに出やすくなる先輩に教わりましたので(笑)。



(5) まとめ編

——インターンシップ募集はしていますか？



今年（令和5年）の夏に二回ほど予定しています。生産性の改善を一緒に考えるプログラムと、生産に使う機械の選定を通して生産性や安全性などの視点を一緒に学んでもらうプログラムを用意しています。

——毎年、インターンは開催されているのですか。

夏のインターンは2年前から始めて、プログラムを変えながら行っています。冬のインターンは毎年開催しています。

インターンは自己分析のために有効ですし、面接や企業説明会と違い様々な部署の方と関わったりできるのでおすすめです！

——今後の目標をお願いします。

今は製造グループに属していますが、今後は他のグループを経験していくので、製造以外の知識や知見を増やしていきたいです。会社である以上、他部署とも関わるので、自分の部署だけでなく他部署も良くなるように様々な知見を得たいです。

今はどこも人手不足が深刻で、ひとりで様々な作業ができることはすごく重宝されるので、自分がずっと働くうえで、いろいろな人の助けとなれるように知識を増やしていきたいです。このことは自分の改善活動のスキルアップにもつながるので、今後一層頑張っていきます。

——最後に、就活生へメッセージをお願いします。

自分の考えに縛られず、たくさんの会社を知ってほしいです。自分が希望した業種でも人間関係や地域に慣れずにうまくいかない場合も多いので、いろいろな会社を知って、インターンシップなどで訪問しながら自分のフィーリングに合う会社を見つけてほしいです。

興味のある業界を目指すのももちろん良いことですが、思わぬ巡りあわせもあるので、視野を広く持って就活頑張ってください！

——ありがとうございました！

三浦さんが会社のいいところとして推していたように、社内の雰囲気の良さが非常に伝わってくる取材でした！

ニチレイフーズは誰もが知る大企業ですが、その成長は会社のモットーである「ハミダス」と、若手の社員が率先してチャレンジする改善活動にあり、社員全員が仕事に誇りをもって取り組んでいることがわかりました！



【インタビュアー：山形大学人文社会科学部 安倍椋大、和田佳、和田大志】

株式会社ニチレイフーズ 山形工場

★従業員の行動指針は「ハミダス」

「ハミダス」には『チャレンジ』『周囲と連携』『楽しく！』などの思いが。
入社1年目でも意見を出し合える風土があります。何にチャレンジするかはあなた次第。トライ&エラーは当たり前。 やってダメなら次をやってみよう！そこに進化があるんです。

★2022 年度 第 52 回 食品産業技術功労賞

- ・所在地 山形県天童市北目 3-3-35
(本社：東京都中央区築地 6 丁目 19 番 20 号ニチレイ東銀座ビル)
- ・設立 平成 17 年 1 月
- ・従業員数 390 名 (男性 200 名、女性 190 名)
- ・事業内容 冷凍食品・常温食品の製造・開発
- ・URL <https://www.nichireifoods.co.jp/>

